

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	枚方市健康増進計画審議会
開 催 日 時	25年5月29日（水） 13時 30分から 15時 00分まで
開 催 場 所	枚方市民会館 第6集会室
出 席 者	会長：高鳥毛 敏雄委員、 副会長：後閑 容子委員、 垣内 成泰委員、原 久永委員、岩瀬 敦彦委員、 笹井 康典委員、野々村 亘委員、矢寺 重敏委員、 吉山 美和委員、畑 和美委員
欠 席 者	なし
案 件 名	1. 会長及び副会長の選出について 2. 諮問 3. 会議の公開について 4. 枚方市健康増進計画について ①枚方市健康増進計画の経緯 ②第2次枚方市健康増進計画の基本方向および骨子（案） 5. 今後のスケジュール（案） 6. その他
提出された資料等の 名 称	資料① 枚方市健康増進計画審議会の傍聴に関する取扱要領（案） 資料② 枚方市健康増進計画の経緯について 資料③ 第2次枚方市健康増進計画の基本方向について（案） 資料④ 第2次枚方市健康増進計画の骨子（案） 資料⑤ 枚方市健康増進計画にかかるスケジュール（案） 参考資料①…枚方市健康増進計画審議会委員名簿 参考資料②…枚方市附属機関条例 参考資料③…枚方市健康推進本部設置規程 参考資料④…健康増進法 参考資料⑤…国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針 参考資料⑥…関係各課における健康づくりに関する事業の取り組み状況について（平成23年度分）

	<p>参考資料⑦…枚方市民の健康づくりに関するアンケート 結果報告書</p> <p>参考資料⑧…枚方市小中学生の生活習慣と健康意識に関する調査(案)</p> <p>参考資料(冊子)…枚方市健康増進計画</p> <p>参考資料(冊子)…枚方市健康増進計画 中間評価</p> <p>参考資料(リーフレット)…枚方市健康増進計画ダイジェスト版</p> <p>参考資料(リーフレット)…健康医療都市ひらかた</p>
決 定 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長は高鳥毛 敏雄委員、副会長は後閑 容子委員とする。 2. 審議会に対し諮問を行う。 3. 会議は公開とする。 4. 第2次枚方市健康増進計画の基本方向および骨子(案)の検討をした。 5. 検討事項や質疑に関しては、会長、副会長、事務局にて協議し次回に報告する。 6. 審議内容を踏まえ、事務局にて今後、具体的施策や目標等のたたき台を作成する。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0 人
所 管 部 署 (事 務 局)	健康部 保健センター

審 議 内 容

事務局

(開会)

定刻となりましたので、これから第1回枚方市健康増進計画審議会を始めさせていただきます。皆様方には大変お忙しい中、委員の就任並びに本会議へのご出席、誠にありがとうございます。

私、本日の進行を務めさせていただきます、健康部 保健センターの西岡と申します。どうぞよろしく願いいたします。

本来であれば、市長より委員の皆さまお一人ずつに委嘱状を手渡しさせていただくところですが、他の公務のため、欠席させていただいておりますので、誠に恐縮ではございますが、既に机の上に置かせていただいておりますので、お受け取りくださいますようお願いいたします。

それでは、会議に先立ちまして、副市長の奥野から、ご挨拶を申し上げます。

奥野副市長

みなさま、こんにちは。副市長の奥野でございます。

本来なら、市長の竹内が皆さまにご挨拶を申し上げるところですが、他の公務と重なっておりますので、市長に代わりまして私から一言ごあいさつ申し上げます。

本日は、大変お忙しい中にも関わりもせず、「枚方市健康増進計画審議会」にご出席いただきありがとうございます。また、委員のご就任にあたり、格別のご高配を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、本市では、平成17年3月に現行計画であります枚方市健康増進計画「ひらかた みんなで元気計画」を策定しました。

現計画は「市民一人ひとりが具体的に健康づくりに取り組むための計画」として策定し、「健診を受けること」「野菜を食べること」「歩くこと」の3つの項目の取り組みを中心に、広く市民に啓発や周知に努め、関係機関や健康づくりボランティア等の協力のもと、健康づくりの推進に取り組んできたところでございます。

現計画につきましては、平成26年3月を以って計画期間を満了いたします。このため、26年度以降に市民の健康増進に関する施策を総合的に推進するために、後継計画として第2次枚方市健康増進計画を策定する必要があります。

この第2次計画は、24年度に策定された、国が提唱する「第2次健康日本21」及び第2次大阪府健康増進計画を勘案し、中核市移行を見据えた、総合的かつ計画的な健康づくりに関する指針を作成することが求められています。

また本市におきましては、すべての市民が健やかでいきいきと暮らせる「健康医療都市ひらかた」を目指して更なる健康の増進を図る所存でござ

	<p>いますので、ぜひ活発なご審議をいただきますようよろしくお願い致します。</p> <p>最後になります、第2次枚方市健康増進計画は、平成25年度中の策定を目指しております。皆さま方には大変ご苦勞をおかけするかとと思いますが、ご理解・ご協力をいただきますようお願い申しあげまして、簡単ではございますが開会の挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願い致します。</p> <p>では、案件に入ります前に、初めての会議でもありますので、委員の皆さまのご紹介をさせていただきます。名簿はお渡ししておりますファイルの中の参考資料①になります。あわせてご確認ください。関西大学教授高鳥毛敏雄委員でございます。摂南大学看護学部長後閑容子委員でございます。枚方市医師会副会長垣内成泰委員でございます。枚方市歯科医師会会長原久永委員でございます。枚方市薬剤師会副会長岩瀬敦彦委員でございます。大阪府枚方保健所所長笹井康典委員でございます。枚方市コミュニティ連絡協議会副会長野々村亘委員でございます。枚方体育協会事務局次長兼総務課長矢寺重敏委員でございます。大阪府栄養士会地域活動栄養士部会栄養アドバイザー「萌」会長吉山美和委員でございます。北大阪商工会議所中小企業相談所地域振興課課長畑和美委員でございます。</p> <p>続きまして、枚方市の職員を紹介させていただきます。奥野副市長でございます。厚生担当理事木村でございます。本日健康部長の人見は他の会議と重なっておりまことに申し訳ありませんが遅れて出席させていただくこととなります。健康部次長白井でございます。健康部次長眞鍋でございます。保健センター事務長中川でございます。保健センター主幹村上でございます。市民活動課課長山崎でございます。産業振興課課長藤重でございます。国民健康保険課課長松岡でございます。高齢社会室課長池田でございます。子育て支援室課長富田でございます。教育指導課主幹位田でございます。スポーツ振興課課長代理京でございます。</p> <p>それでは、案件に入りたいと思いますが、初めての会議であり、議事の進行を行う会長が決まっておりません。会長が決定されるまでは、事務局のほうで進行させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
事務局	<p>(会長及び副会長の選出)</p> <p>ファイルにあります参考資料②の「枚方市附属機関条例」をご覧ください。本審議会は、枚方市附属機関条例に基づく附属機関でございます。条例第4条において、会長は委員の互選により定め、副会長は会長が必要と認めるときには指名により定めることができるとあります。会長の選出につきましては、委員皆様のご承諾が得られれば、事務局の方から案を提示</p>

	<p>させていただきますと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p>
委員	異議なし
事務局	<p>それでは、現在、関西大学の教授であり公衆衛生学・健康政策学を専門分野として幅広くご活躍されています高鳥毛敏雄委員にお願いしたいと思います。皆様いかがでしょうか。宜しければ拍手をもってご承認いただきたいと思います。</p>
委員	(拍手)
事務局	<p>それでは、本審議会の会長は高鳥毛委員にお願いします。高鳥毛委員、どうぞ前の方へお願いします。</p>
高鳥毛会長	<p>関西大学社会安全学部の高鳥毛でございます。この審議会の会長としてご指名いただきました。皆様のご協力の程よろしく申し上げます。年々自治体が市民のために行う健康、福祉、介護などさまざまな活動が重要になってきています。市民の健康に関わるこの健康増進計画も住民にとって重要な課題です。ご審議の程よろしく申し上げます。</p> <p>今後の議事進行に関しましては私のほうで進めてまいります。それでは、続きまして「副会長の選出」ですが、附属機関条例において「必要と認めるときは会長が指名により定めることができる」となっておりますので、私の方から指名させていただいてよろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし
高鳥毛会長	<p>それでは、副会長に、同じく学識経験者であります摂南大学の後閑容子委員を指名させていただきます。後閑委員、どうぞ宜しくお願いします。副会長席にお移りください。</p>
後閑副会長	<p>後閑でございます。副会長をおおせつかりました。私は保健の方が専門で、摂南大学の看護学部の学部長をしておりますが、昨年開学しました大学でまだ新しい大学です。卒業生がこれから出て行く中で、枚方市の市民の一人としまして、健康づくりに貢献できるような役割を果たしていき、学生にも残していきたいと思っておりますので、このような機会を与えていただきまして大変ありがとうございます。これからもよろしく申し上げます。</p>

事務局	<p>(諮問)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、「諮問」に移らせていただきます。</p> <p>会議の進め方としまして、市長からこの審議会に諮問し、審議会にて調査審議いただき、答申をお受けするとなっております。本日市長が欠席しておりますので、市長の代理として、副市長が諮問書の朗読をもって諮問をさせていただきます。では、副市長、お願いいたします。</p>
副市長	<p>それでは諮問させていただきます。</p> <p>枚方市健康増進計画審議会会長 高鳥毛敏雄様。枚方市長 竹内脩。</p> <p>第2次枚方市健康増進計画（案）の策定について</p> <p>標記の件につきまして、枚方市附属機関条例（枚方市条例第35号）第1条2項に基づき、貴審議会に諮問します。</p> <p>以上でございます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。委員の皆様のお手元にも、諮問書の写しをお配りしておりますので、ご参照ください。</p> <p>それでは、高鳥毛会長、以降の会議進行をよろしく申し上げます。</p>
高鳥毛会長	<p>只今、市長に代わり副市長よりこの審議会に諮問をいただきました。この諮問は第2次健康増進計画の策定ということになります。諮問趣旨に関しては皆さんのお手元に配られていると思いますが、この諮問に対する審議を今年度進めていきたいと思っております。</p> <p>では、次第に沿って進めてまいりたいと思っております。</p>
高鳥毛会長	<p>(会議の公開について)</p> <p>案件3「会議の公開について」ですが、「枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程」に基づき、本会議の公開・非公開の取り扱いについてお諮りしたいと思います。</p> <p>本審議会におきましては、「枚方市附属機関条例」第6条第1項及び第2項並びに「枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程」における非公開とできる事項のいずれにも該当しないことから、「公開」とさせていただきたいと思っております。会議録についても発言された委員の氏名を公開するというので、ご異議ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
高鳥毛会長	<p>では、ご異議等ありませんので本審議会は公開とさせていただきます。</p>

	<p>お手元に資料①として、「枚方市健康増進計画審議会の傍聴に関する取扱い要領（案）」が配付されております。</p> <p>会議の傍聴についての取扱いは、こちらに記載されているとおりとすることでご異議ございませんか。</p>
委員	異議なし
高鳥毛会長	<p>それでは、本要領のとおりとします。</p> <p>では、事務局に傍聴希望者の報告をお願いします。</p>
事務局	本日の傍聴希望者はございません。
高鳥毛会長	次に事務局より、委員の出席状況について報告をお願いします。
事務局	本日の委員の出席状況ですが、委員 10 名中、10 名の出席をいただいております。よって会議が成立していることをご報告させていただきます。
高鳥毛会長	ありがとうございます。会議が成立しているということですので、議事を進めてまいりたいと思います。
	<p>（枚方市健康増進計画について）</p> <p>では、案件 4 「枚方市健康増進計画について」の①「枚方市健康増進計画の経緯」についてですが、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ご説明させていただきます前に、改めて資料の確認をさせていただきます。お手元にクリップ留めの資料と参考資料を綴っております青いファイルを置いております。まず、クリップ留めの資料からご確認ください。本日の次第でございます。</p> <p>資料① 枚方市健康増進計画審議会の傍聴に関する取扱い要領（案）</p> <p>資料② 枚方市健康増進計画の経緯について</p> <p>資料③ 第2次枚方市健康増進計画の基本方向について（案）</p> <p>資料④ 第2次枚方市健康増進計画の骨子（案）</p> <p>資料⑤ 枚方市健康増進計画にかかるスケジュール（案）</p> <p>最後に、資料ナンバーはついておりませんが、高鳥毛会長からご提案いただいた 第2次枚方市健康増進計画のイメージ図でございます。次に青いファイルをご確認ください。</p> <p>参考資料①…枚方市健康増進計画審議会委員名簿</p> <p>参考資料②…枚方市附属機関条例</p>

<p>参考資料③…枚方市健康推進本部設置規程</p> <p>参考資料④…健康増進法</p> <p>参考資料⑤…国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針</p> <p>参考資料⑥…関係各課における健康づくりに関する事業の取り組み状況について</p> <p>参考資料⑦…枚方市民の健康づくりに関するアンケート 結果報告書</p> <p>参考資料⑧…枚方市の小中学生の生活習慣と健康意識に関する調査(案)</p> <p>参考資料としまして、ブルーの表紙の冊子、こちらが「枚方市健康増進計画第1次計画」となります。続いて黄色い表紙の冊子が「枚方市健康増進計画 中間評価」となっております。最後に「枚方市健康増進計画 ダイジェスト版」と健康医療都市ひらかたのリーフレットとなります。</p> <p>以上でございます。資料の過不足等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、枚方市健康増進計画の経緯について、ご説明申し上げます。資料②をご覧ください。</p> <p>1 ページ目の上段の図は、国・大阪府と本市の計画の関連を時系列で示したものです。</p> <p>枚方市では枚方市の健康課題などを踏まえ、平成17年3月に第1次健康増進計画「ひらかた みんなで元気計画」を平成22年までの5ヵ年計画として策定しました。平成22年度が本計画の最終年度となっておりましたが、国が策定しています「健康日本21」が実施期間を平成24年度まで延長し、これにあわせ府が策定しました「大阪府健康増進計画」および枚方保健所が策定した枚方市圏域計画である「健康ひらかた21」も計画を延長したことを受け、本市においても国や府の計画の整合性を図り、25年度以降の国が示す国民の健康づくり運動の動向を見据えるため、本計画の終期を25年度まで延長しました。</p> <p>第1次計画の取り組みに関してですが、本計画は、健康への入り口として、資料②1 ページ右下の図の中央に掲げています、「身体健康チェック」「栄養・食生活の改善」「身体活動・運動の推進」の3つの入り口を設定しています。</p> <p>この3つの入り口には、市民一人ひとりが具体的に健康づくりに取り組むものとして、『身体健康チェック』には『健診を受けましょう』、『栄養・食生活の改善』には『野菜をたべましょう』、『身体活動・運動の推進』には『歩くことから始めましょう』という3つのチャレンジを設定し、市民が健康への第一歩として自らチャレンジしていくことを、さまざまな方面より支援してまいりました。</p> <p>2 ページ中段の図をご覧ください。このチャレンジのためのきっかけ</p>
--

作りのひとつとして、「野菜をたべましょう」には野菜を意識して毎食の食事に取り入れてもらうことを目的にエントリー①「朝昼夕、野菜をたべよう」、エントリー②「1日5皿、野菜料理をたべよう」のエントリー者を募り、野菜の摂取量の増量と、毎食野菜をたべることの習慣化を図ってきました。

「歩くことから始めましょう」には、「歩くこと」を生活に意識して取り入れてもらうことを目的に、エントリー③「目指せ日本橋！東海道五十七次を歩こう」と題し、毎日歩いた歩数を記録するウォーキングイベントのひとつとして、エントリー者を募り健康づくりの推進をしました。エントリー受付の際に活用しましたリーフレットを青いファイルの後方に綴っておりますのでご参照ください。

平成21年3月には、「ひらかた みんなで元気計画」の中間評価を行いました。こちらも青いファイルに綴っておりますので、併せてご参照ください。

資料②の2ページに戻りまして、中間評価と同時期の平成20年度から、医療制度改革により、特定健康診査がはじまり、健診の仕組みが大きく変化したことを受け、チャレンジ①の「健診を受けましょう」については、特定健診の受診率向上を含め市が実施する全ての健診の受診率向上を目指し、環境整備をすすめてきました。

3ページをご覧ください。チャレンジ②の「野菜をたべましょう」に関連します。栄養・食生活については、平成20年3月に「枚方市食育推進計画」が策定されたことから、「食育」と健康づくりの両輪での推進をはかってきました。

チャレンジ③の「歩くことから始めましょう」に関しては、平成19年に策定された「枚方市スポーツ振興ビジョン」が目指す、「スポーツによる健康・生きがいがづくり」に基き、あらゆる世代における健康増進のための運動の第一歩として、「歩くこと」を推進してきました。

4ページをご覧ください。計画の最終年度を平成22年度から25年度まで延長するにあたり、延長された期間に取り組むべき目標を新たに設定し、その達成に向け、健康づくりの推進を図ってまいりました。新たな目標の内容は、4ページ目の中ほどに記載しているとおりです。

これらの目標の達成状況や第一次計画の取り組みに対して評価分析をおこなうため、平成25年1月に、市内在住の16歳以上の市民4100人を対象に「健康づくりに関するアンケート」を実施しました。アンケート結果は、青いファイルの参考資料⑦に報告書としてまとめています。

5 ページからは、計画の最終評価についてお示ししております。

今回の評価では、このアンケートの他、保健センターおよび関係課にある基礎データを基に、「ひらかた みんなで元気計画」で定めたチャレンジごとに、現状および課題を整理しています。

まず、「チャレンジ1 身体健康チェック 健診を受けましょう」についてですが、健康診査の受診に関しては、市民アンケートの結果によると「この1年間に住民健診・特定健診・後期高齢者医療健康診査・勤務先や学校での健康診査や人間ドックを受けた」と答えた人の割合は、55.3%から63.9%と8.6ポイント高くなっており、受診率は増加しています。

また、枚方市国民健康保険 特定健康診査の実施状況でも、5 ページの下図にありますように、平成21年度以降受診者、受診率とも増加傾向にあります。

次のページの各種がん検診では、枚方市が実施しています、子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診の受診率が増加傾向にあります。

健康診査や枚方市が実施していますががん検診の受診率は計画策定当初に比べ増加傾向にあるものが増えていますが、目標値としている値からみるとかなり低い状況です。また 6 ページの中ほどにあります、平成23年度の枚方市がん検診結果の表のとおり、肺がん・胃がん・大腸がん検診では、受診者は女性が多いが、がん発見者は男性が多いことや、子宮頸がん発見者の若年化が進んでいるという現状を踏まえ、各がん検診特有の課題に沿った対策が必要となっています。

次に、「チャレンジ2 栄養・食生活の改善 野菜をたべましょう」についてです。

野菜の摂取の現状として、野菜を毎食1皿ぐらいとっている人の割合が中間評価時において49.7%と低い状態でしたので、野菜の摂取不足を解消するための具体的な実践方法であるエントリー①②の推進を進め登録者の増加を目指してきました。

23年度よりエントリー①に関しては年間登録者1000人、エントリー②に関しては600人を目標として、健康づくりに取り組む意識付けを行ってきました。各年毎のエントリーの登録者数は、7ページの中央の表のようになっています。

エントリー①に関しては23年度、24年度とも達成率は95%を超えています。エントリー②に関しては、達成率としては低い状態となっています。

また「枚方市食育推進計画」においては、食事のバランスの状態について重点目標としており、「1日のうちに主食・主菜・副菜をそろえた食事

をしていない中高年者の減少」を目指してきました。

結果としましては、1日のうちに主食、主菜、副菜がそろった食事が0回の割合は、8.2%から6.1%と2.1ポイント減少しています。

枚方市食育推進計画では、主食、主菜、副菜のそろった食事をしていない中高年の割合の減少を指標として、目標値を5%としていましたが、食育推進の第2次計画においては、栄養バランスをとれた食事は、中高年者に限らず全ての年代において実践されるべきものとのいう考えから、「1日のうちに主食、主菜、副菜をそろえた食事をしている人の増加」を指標としており、健康増進計画でも野菜の摂取に限らず、今後この目標をふまえて推進していく必要があります。

最後に、「チャレンジ3 身体活動・運動の推進 歩くことから始めましょう」についてですが、8ページをご覧ください。

まず、運動習慣の有無に関してですが、市民アンケートの結果、「1回30分以上、週2回以上、1年以上運動を行っている」と答えた運動習慣者の割合は、16.8%から18.8%と2.0ポイント高くなっています。

また「特に何もしていない」が、55.0%から52.5%と2.5ポイント低くなっています。

しかし、8ページ下の棒グラフをご覧くださいとおり、運動習慣者の割合を全国比較すると、全国31.7%に対し枚方市は18.5%と大幅に低い状況にあります。特に若者や働き盛りの世代にあたる20歳代から50歳代の年齢層が男女ともいずれも15%を下回っています。

次に身体活動および運動に関してですが、「意識して身体活動・運動を行っている人の割合」は、76.4%から74.8%と1.6ポイント低くなっています。国が示す「健康日本21」での目標値(63%以上)は超えています。平成25年度末までに、達成すべき目標値(80%以上)には至らず、意識して身体活動・運動を行っている人の割合が低い状況となっています。

また、約25%(4人に1人)の人が、スポーツ等の運動習慣がないだけでなく、意識して身体活動も行っていない状況であるため、身体活動や運動習慣に対する個人の意識や動機付けをより一層図ることや、身体活動の増加に結びつく環境づくりや社会支援の強化などの対策が必要です。

また歩くことを具体的に実践するためのエントリー③の登録者数は9ページの図のとおりで、目標値を基準とした達成率は、23年度100.9%、24年度100.3%となっています。

以上 簡単ではありますが これまでの取り組みおよび現状・課題についての説明を終わります。

今後、これらの状況を踏まえ、審議会にてご審議いただき、第2次計画案を策定していただきますよう、よろしくお願いいたします。

高鳥毛会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>只今事務局のほうからこれまでの「健康増進計画の経緯」について説明がありました。今年度は第2次計画を作るわけですが、当初からの計画を踏まえてということで説明していただきました。何かただいまの報告についてご意見、ご質問等ございましたらよろしくお願いします。</p>
笹井委員	<p>質問ですが、エントリー①②③は、どのように情報を流し募集したのですか。例えば広報やホームページとか、仕組みを教えてください。</p>
事務局	<p>さまざまな保健事業でありますとか、関係課の事業のほうに職員が出向きましていろんな場を通じてエントリーの説明をしています。ダイジェスト版というものが、この青いファイルの後ろのほうに挟んでいますグリーンのリーフレットです。このダイジェスト版を使ってご説明して、申込用紙をご提出いただき登録者を募っています。ホームページ広報等でもお知らせしています。また健康医療福祉フェスティバルですとか食育カーニバル等も活用させていただいてエントリーを募っているという状況です。</p>
笹井委員	<p>もう一点。目標値を設定されていますね。この年間登録者数を、1000人、600人、700人と設定されました理由はございますか。</p>
事務局	<p>当初、こちらの計画は、健康づくり運動を枚方市の市民に広く進めていくということで、第一次計画のほうでは目標値というものは設定しておりませんでした。先ほど経緯の中でも説明させていただきましたように、延長期間というものがありましたときに、同じ取り組みを続けるというより、この2年間にもっと推進をはかっていこうということで、その時点でのエントリー者数などを考慮して、さらに推進をはかって目指すべきエントリー数というものを目標値設定しています。</p>
笹井委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
高鳥毛会長	<p>他、委員の方で只今の健康増進計画の経緯について、ご質問、ご意見ございませんか。</p>
垣内委員	<p>資料5ページの上の「この1年間に住民健診・特定健診・後期高齢者医療健康診査・勤務先や学校での健康診査や人間ドックを受けましたか」の結果は非常によいデータですね。ところが、実際の特定健診、がん検診の受診率とはかなり差がありますが、どのように考えたらよいのですか。</p>

事務局	<p>データとして載せている資料の受診率は、あくまでも枚方市で実施しています健診になります。</p> <p>市民アンケートの結果は、国民健康保険課で実施しております特定健診でありますとか、枚方市が実施しています住民健診以外の職場や学校での健診や職場のほうで実施しています特定健診も含まれているため、少し高く出ているのではないかと思います。</p>
垣内委員	<p>市の特定健診の受診率は20%から30%ぐらいまでですよ。これに社会保険とかそれ以外の特定健診等を含めると6割ぐらいなるということですよ。すごいですね。</p>
高鳥毛会長	<p>一般的に、企業の規模によるかと思いますが、事業者の健診状況は60%を超えてるかと思いますが。市が実施している健診はこんなものかと思いますが。本当はもう少し高くてもいいかと思いますが。</p> <p>5ページの上の表の平成15年と24年の健診を受けたという%は、年齢が高くなると健診の受診状況が変わってきますよね、今後評価するとき%が増えたのは、年齢効果なのかどうかわかるようにしていただけたらと思います。よろしくお願いします。</p> <p>他、ございませんか。</p>
高鳥毛会長	<p>(第2次枚方市健康増進計画の基本方向および骨子(案)について)</p> <p>無いようですので、つづきまして「第2次枚方市健康増進計画の基本方向および骨子(案)について」、この審議会の本題になりますが、事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、続きまして、「第2次枚方市健康増進計画の基本方向および骨子について」、説明させていただきます。</p> <p>お手元の資料③をご覧ください。</p> <p>第2次計画は、健康増進法に基づき、平成17年3月に策定した第1次計画の後継計画となりますが、第1次計画と第2次計画の違いは、第1次計画が枚方市における健康づくり運動を広げることが目的とした「市民一人ひとりが具体的に健康づくりに取り組むための計画」であったのに対し、第2次計画は、中核市移行後を見据えた「健康おおさか21保健所圏域計画」を包含するより幅広い内容が求められることから、「健康医療都市」を実現するための施策を総合的に推進するための計画となります。</p>

第2次計画は、国の提唱する「健康日本21」及び「大阪府健康増進計画」を勘案して策定するもので、計画期間は国に合わせ10年間とし、平成26年度から平成35年度までの計画とします。

また、資料にお示しました、枚方市の関連計画と整合性を保ち策定することとなります。

計画のイメージ図につきましては、高鳥毛会長からご提案いただいた資料をお配りしておりますので、ご参照ください。

計画検討体制としましては、資料③の裏面の上段にあります図のとおり、枚方市健康増進計画審議会に諮問し、答申をいただく形になります。

また庁内での体制としましては、枚方市健康推進本部 幹事会 健康増進部会を立ち上げ、方向性や進捗状況の確認を行い健康推進にかかる最高決定機関である健康推進本部にて承認を得ます。

健康増進計画審議会および枚方市健康推進本部に関する規程は参考資料②及び③をご確認ください。

次に第2次計画の内容についてです。基本理念の案として「市民一人一人が、自己の健康について関心を持ち、行動を起こすことができるようサポートするとともに、健やかで心豊かな生活ができる社会環境づくりに取り組み、健康医療都市にふさわしい、いつまでも健康で生き生きと暮らすことができるまち「ひらかた」の実現を目指します」とあげさせていただいています。

また、この理念の達成のための基本的な内容として、3つの重点取り組みをかかげ、ライフステージ別の健康づくりを推進することを案としてあげています。

次に、計画の骨子となる部分ですが、こちらも案として資料④にお示していますのでご覧下さい。

まずは、健康増進計画の基本的事項としまして、目的・基本理念・計画の趣旨・位置づけを1つの章立とし、次に、枚方市の現状として概況や、これまでの取り組みや第1次計画の最終評価と方向性に触れ、続いてライフステージ別の健康づくりの章で、ステージごとの健康に関するデータや課題、具体的な施策を示し、目標を立てていく案をお示しさせていただいています。

ライフステージは食育推進計画に合わせた5つ、乳幼児期・児童生徒期・青年期・壮年期・高齢期に分ける予定です。

次の章で計画の目標を記載し、最後に資料編として健康増進計画に関する資料を添付しようと考えています。

なお、この基本方向（理念）や骨子につきましては、あくまでも現時点

<p>高鳥毛会長</p>	<p>での事務局案でございます。これらの内容に関しましては、計画の根幹となる部分でございます。色々なご意見やご提案をいただき、修正を加えながら、まとめてまいりたいと考えております。</p> <p>ご審議のほど よろしく申し上げます。</p> <p>只今、事務局のほうから、第2次枚方市健康増進計画の基本方向および骨子（案）について説明していただきました。</p> <p>今回、ここで審議します健康増進計画の土台、立ち位置を規定するものになりますから、委員の皆様からご意見をよろしく申し上げます。</p> <p>まず資料③の計画の位置づけ、関連計画、計画検討組織の体制までのところで、不明な点やご質問等ございませんでしょうか。</p>
<p>高鳥毛会長</p>	<p>計画の位置づけは、いわゆる健康増進法にのっとり枚方市で計画を作るということなので、異論というものはないと思いますが、健康増進法とはなんなのかという素朴な質問でもよいので、よろしく申し上げます。</p> <p>あと、枚方市健康増進計画は枚方市が策定するというので、この健康増進計画に關係する関連計画があげられており、既に策定されている。行政という立場で他の計画との整合性考えて策定したいということです。</p> <p>この点はよろしいでしょうか。</p>
<p>高鳥毛会長</p>	<p>次に、この計画の策定にあたっての体制が資料③の裏面に記載されています。健康増進計画審議会がこの場でありますが、今日諮問をいただきました。これについて答申をお返す。それにのっとり枚方市の内部で文書的にすすめていくという組織体制でなりたっているということです。この点についてご意見はありますか。</p>
<p>高鳥毛会長</p>	<p>ありませんか。</p> <p>なければ中身に入ることとします。</p> <p>下に第2次計画（案）のイメージが書かれています。</p> <p>基本理念と具体的な内容として、</p> <p>重点取組1.健康づくりを支える環境整備</p> <p>重点取組2.7つの分野に関する健康づくりの推進</p> <p>重点取組3.生活習慣病の発症及び重症化予防</p> <p>この3つを柱として進めていきたいということですが、この点についてはいかがでしょうか。</p>

高鳥毛会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ここまでの件に関しては特にご意見がないということで、次に進めていきます。</p> <p>資料④は、増進計画を策定する計画書の、大まかな組み立て、章立て的な案になります。この点についてご意見はありますか。</p> <p>資料③と見比べて、付け加わっている点は、ライフステージ別に策定するという点が加わっています。ここまでで、ご意見はありますか。</p>
後閑副会長	<p>ライフステージ別の健康づくりということですが、アンケートの結果報告書を見ましても、60歳代、70歳代という風にデータが分かれています。健康増進は中年期が中心でありますので、できればそこにターゲットをあててということもあるものだと思いますが、後期高齢者および前期高齢者ですと、活動量がだいぶ違うのかと思うものですから、高齢者をひとくくりにしてもいいものかなと思いました。壮年期の年代が40歳64歳ということを見ても、高齢者のくくり方が少し大雑把なのかなと感じがしました。いかがでしょうか。</p>
高鳥毛会長	<p>只今の質問は、枚方市も年々高齢者人口も増えている。市民の健康という意味では、従来の疾病予防の対象者である中高年期から、さらに高齢期をさらに分けて検討ないし計画を考えるべきではないかという意見でした。事務局の方はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見いただきました通り、実際に私たちと一緒に健康づくりをすすめていって頂いているボランティアさんやそういった団体さんも、前期高齢者の皆さんのお力をかなり借りていたりします。前期高齢者と後期高齢者というのは、ずいぶん活動量がちがいで、健康づくりへの取り組み方も違うと思いますので、ご意見を参考にさせていただきたいと思います。</p>
高鳥毛会長	<p>他、いかがでしょうか。</p>
笹井委員	<p>この計画で、一番市民の方に知っていただくのがなにか、行政としてのメッセージはなにか、それをしっかり議論したほうがいいと思います。</p> <p>私の意見は、今後高齢者を含めて寿命がずいぶん長くなっていますので、行政が何でもかんでもやれることには無理があると思いますので、ご自身や家族、それからその周辺のコミュニティというものを育てるために、枚方市はどういうことをしなければならぬのかというところを強調してはどうかと思います。そういう意味では、後期高齢者を分けるということであれば、そういう年代の方については行政が何かをするのではなくて、行</p>

	<p>政がどういうサポートをすれば、高齢者が地域で安心して生活ができ、しかもできるだけ重い病気をしない、そういう状況が作れるかということをしっかり考えて盛り込んではどうかと思います。若干理念的なところが強調されるかもしれませんが、そういう理念をもった地域社会を作っていくというのがわかるような計画はどうかという風に思っています。</p>
高鳥毛会長	<p>貴重な意見ありがとうございました。</p> <p>近年、市に課せられています、健康づくりのみならず、介護や福祉などの課題が多くなってきています。行政ががんばるだけで問題が解決するかという基本的なところがどうしても議論されることが少なくなってきました。只今の笹井委員の指摘は、市民の増進計画を作るにあたって、行政がうごくのではなく、どちらかというとコミュニティの力や市民の力を支援、サポートをするという役割のほうが、本来の形ではないかというご指摘だったと思います。</p> <p>他に何かございますか。</p>
岩瀬委員	<p>計画ということで、何か共通したテーマがあればわかりやすいと思うのですが。例えば低年齢者に対しての早食い。よく噛まずに食べているため満腹中枢が発動する前に量を食べている感じがございますので、「よく噛んで食べる」ことを進めるなど、解りやすいのではないかと思います。</p>
高鳥毛会長	<p>他に何かありますでしょうか。</p>
高鳥毛会長	<p>先ほど笹井委員のご指摘の中で、市民にわかりやすいメッセージを考えておく必要があるのではないか言う点ですが、やはりどうしても分厚い計画書として立派なものできたとしても、それがどんなものなのか市民が理解できるような、市民が受け止められるメッセージを打ち出せるよう皆さんのお知恵をお借りできればという風に思っております。</p>
高鳥毛会長	<p>他に何かありますでしょうか。</p>
矢寺委員	<p>ライフステージの関連なのですが、スポーツのカテゴリーでもよくやるのですが、5項目以外に女性という項目を入れるのですが、女性特有の部分もあると思いますので、そういったものを入れてはと思いますがどうでしょうか。</p>
高鳥毛会長	<p>ありがとうございました。貴重な意見で女性ということですが、第1次の計画は、どうだったのでしょうか。</p>

事務局	<p>第1次計画のほうでは、生活習慣病予防を中心に対象を18歳以上とじていました。特に男女別にとすることはありませんでした。がん検診やいろいろな健診のなかでは、それぞれ特徴が出てくるものや、検診の結果についても、男女で課題になる部分が違うところはありましたが、大きな対象別としての男女別は第1次計画の中ではもっていませんでした。</p>
高鳥毛会長	<p>第1次計画では特にとということではなかったと受け止めましたが、只今のご指摘で少し気になりますのは、健康日本21の計画の中で、タバコやアルコールなどが入っています。タバコやアルコールに対し最近企業の戦略が女性をターゲットにしているようですので、むしろこういう公的な健康づくりをみすえた計画作りには、若い女性のタバコについてはより力を入れるべきかと個人的には感じています。</p>
高鳥毛会長	<p>他にご意見はありますか。</p>
笹井委員	<p>枚方市は健康医療都市コンソーシアムを3師会や病院、大学を含めて進めておられるということですが、たぶんコンソーシアムの目標と増進計画の目標とは大体同じ方向に向かうのかと思います。したがってこの健康増進計画にコンソーシアムとの活動をいかせるような共通の目標、あるいは健康増進計画の目標の中にコンソーシアムの活動のご協力をいただくなど、少し具体的なものが作れるのであれば一度健康部で検討していただいて盛り込んではどうかと思います。</p>
高鳥毛会長	<p>只今の笹井委員の意見に対して事務局でなにかございますか。</p>
人見部長	<p>本日会議が重なり、遅れて出席させていただきましたことをお詫び申し上げます。</p> <p>今委員からいただいたご意見ですが、たしかに目標としているところは同じ方向を向いており、健康医療都市ひらかたコンソーシアムを設立して取り組んでいるところでございます。この健康増進計画の基本的な事項を章立てしてありますところに、まず目指すべき方向として枚方市が取り組んでいること、目指すべき方向の概要をここに位置づけをさせていただいて、その中でコンソーシアムとの関連についてもふれさせていただきたいと思っております。</p>
高鳥毛会長	<p>枚方市は健康医療都市ということでコンソーシアム設立して、そこにも健康、医療とはいっています。この健康増進計画にも共通する点があると</p>

高鳥毛会長	<p>ということで、あわせて考えていくという言葉いただきました。</p> <p>他ございませんでしょうか。</p> <p>私の方から1枚資料をださしていただきました。特に大きな意味はないのですが、健康日本21ができ、その後健康増進法が制定され都道府県や各市町村が健康増進計画を熱心に進めてきています。それはいいことだと思いい評価しますが、ただ1点、先ほど笹井委員の方からご指摘がありました。ややもすると、行政の計画として、何か市民と社会と行政という形の健康づくりとか、健康空間をつくるというところから、行政が先行してしまうことによって、市民にとってもマイナスだし、行政にとっても負担が大きいという形になってしまうのではないかという風を感じています。</p> <p>今回の計画は枚方市が策定する健康増進計画というものですから、市のいろいろな行政施策と重ねあわせて、整合性を持った計画をつくるということが1点あります。もう一方では、市民が健康づくりを、市の健康政策と共同できるという形も意識しておく必要があるのではないかと思います。</p> <p>ということで、市の方で作られているものに、下のカッコでくくられているのは、健康増進計画そのものは市の計画ですが、医師会や歯科医師会、薬剤師会を含めた専門職の団体や地域の組織とか一般の市民とかも含めた形で認識できて、次の5年なり10年なり枚方市民の健康づくりに資する計画ができればと思っておりますので、先ほどの笹井委員の方から「市民にわかるメッセージを」というものと共通するのかもしれない。少しその辺りが最近気になっていたのでここでの計画は、市と市民がお互い自分たちの計画だという雰囲気のものができるればいいなと思っております。</p>
高鳥毛会長	<p>(スケジュールについて)</p> <p>それでは時間も限られておりますので、次第に沿って審議を進めさせていただきます。「今後のスケジュールについて」事務局から説明いたします。</p>
事務局	<p>それでは、今後のスケジュールについてご説明させていただきます。お手元の資料⑤をご覧ください。</p> <p>本日第1回枚方市健康増進計画審議会が開催させていただきました。</p> <p>7月に、枚方市立小中学校アンケートを実施する予定です。参考資料⑧にアンケート案を掲載していますので、ご参照ください。</p> <p>7月27日には「未来トーク」で市長と市民の対話の場を予定しており、「働き盛りの健康づくり」をテーマとして、30歳から50歳代の市民の意見を聞く予定としています。</p>

	<p>次回第2回健康増進計画審議会は、8月の下旬ごろに予定しています。その後、12月の計画（案）の答申を目指し、10月ごろに第3回審議会、12月の初旬に第4回審議会を考えており、合計4回の審議会開催を予定しています。</p> <p>市長への答申後、1月の初旬にはパブリックコメントを実施し、2月の健康推進本部幹事会-健康増進部会および健康推進本部にて承認を得て、厚生委員協議会へ報告し26年3月に策定予定となっています。以上でございます</p>
高鳥毛会長	<p>事務局のほうから、今後のスケジュール案について報告していただきました。この審議会はこの後8月、10月に開催しまして12月で計画の最終案の検討という、非常に少ない開催で計画を完成させるというスケジュールとなっています。スケジュールについて、何かご質問等ございませんでしょうか。</p>
矢寺委員	<p>先ほどの説明での小中学校のアンケート資料⑧を見ていますが、これは子ども対象のアンケートになると思いますが、このようなアンケートをとるのであれば、保護者に対するアンケートもとると幅広い内容が取れるのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今回のアンケートは学校をつうじて生徒に配布していただき、その場で記入しすぐに回収を考えておりますので、今回は保護者に対するアンケートは考えていませんでした。市民アンケートという形で16歳以上の市民の方々からはご意見をいただいております。ただ、小中学生についてはこちらの方ではあまりデータを持っていないということもありまして、今回小中学生にアンケートをさせていただこうと思っております。</p>
高鳥毛会長	<p>アンケートは7月に実施し回収するということですか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
高鳥毛会長	<p>アンケートの結果は、第2回の審議会の時に提示するというスケジュールですね。この年代に対しては、このアンケートを土台として計画を作ると考えてよろしいですね。</p>
事務局	<p>はい</p>
岩瀬委員	<p>資料⑧のアンケートについて追加等は可能なのでしょうか。食事に関し</p>

事務局	<p>ての設問は問8になるかと思いますが、食事をする時の状況についてどれだけ時間を要しているかなどは聞かないのでしょうか。</p> <p>このアンケートに関しては、現時点では案という段階でございますので、ご意見をいただいで変更させていただく部分もあろうかと思っておりますので事務局のほうで検討させていただきます。</p>
吉山委員	<p>アンケートの内容について変更が可能ならば、ということで意見を言わせていただきたいと思っております。重点取組②の7つの分野に関してある程度こうした質問項目があるという風に見させていただいたのですけれども、「栄養食生活」に関しては、アンケートでは問8にあたるのかと思いますが、実際の社会情勢から言うと、ご家族の方と子どもたちが一緒にご飯を食べる時間ということに、どう対応していけるのか、こちらが知ったからといってどう活動につなげていけるのかなということがあります。かといって私たちが啓発活動や何かにつなげていける項目が栄養面であるかといえ見当たるところが少なかったのかなと思いたしましたので、栄養食生活という面では、問8の項目よりも先ほど意見いただいたものとか、他の項目があれば良いと思いたしました。</p>
高鳥毛会長	<p>今の意見も貴重な意見だと思います。段々家族ばらばらで生活をしている。それは望んでということではなくて、結果としてそういう風になっているということで、あえて問8の聞き方が、市の健康づくり施策にどういかなることができるのかという・・・、何か仮説なり目標がなければ意味が半減するのではないかといった意見だったように思います。その点も踏まえて、アンケートに基づいて計画を作るということですから、枚方市で作る計画として行政の施策や対策なり、そういうものにつなげられるという点で、全体のアンケート項目を確認していただければと思います。また細かい点があれば、早急にご意見を出していただければと思います。</p> <p>(その他)</p> <p>他に意見がなければ今日の議題の最後、「その他」とあげていますが、その点について事務局のほうからよろしく願います。</p>
事務局	<p>第2回健康増進計画審議会の日程ですが、先ほど申し上げましたとおり、8月下旬に予定しております。日程の調整を行うため、皆さんのお手元のほうに予定表のほうをお配りさせていただいております。現時点で出席できない日にちが確定している場合は×印をいれていただき、提出していただけたらとおもいます。本日、日程がご不明の場合は、2週間後</p>

<p>高鳥毛会長</p>	<p>の6月12日(水)までに、保健センター宛にFAXでご返答のほどよろしくお願ひします。日程調整後、日にちが確定しましたら、ご案内させていただきます。</p> <p>同じく、本日の案件に対するご意見についてですが、会議終了後、更にご意見・疑問等が生じる場合もあるかと存じます。そうした場合のために、ご意見聴取のためのシートをご用意いたしましたので、会議終了後にお気づきの点等がございましたら、こちらも日程調整と同様に6月12日(水)までにFAXにて、保健センター宛にご提出くださいますようお願いいたします。なお、お配りしております様式にこだわらず、メールや口頭など、他の方法でご回答いただいても結構ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。</p> <p>最後になりますが、この後、本日審議いただいた内容を踏まえ、事務局にて今後、具体的施策や目標等のたたき台を作成していく予定です。たたき台に関しましては、第2回目の審議会までに確認していただけるよう準備を進めてまいりますのでよろしくおねがひします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>日程調整に関しておよび本日の事務局の説明等に関してのご意見やご質問があれば、できるだけ早急に、FAX用紙に書いて送信していただければと思います。</p> <p>後にいただいたご意見は、副会長および事務局とともに協議させていただきたいと思ひます。それを踏まえて、内容等の変更があれば、次回の会議で報告させていただきたいと思ひます。</p> <p>それでは、追加のご意見、ご質問等はございますか。</p> <p>特に無いようでしたら、枚方市健康増進計画審議会をこれにて終了させていただきます。</p> <p>皆さまご協力ありがとうございました。</p>
--------------	---